

③利用者はこう思う！



とっても親切！

太美の利用者
松井タキさん

高齢者にとっては、誰にも頼らないで乗ることのできる公共交通はなくてはならないものです。

私は買い物に利用していますが足が不自由で、先日、私の持ち込んだカートを運転手さんが倒れないようにとテープで固定してくれました。こういう心遣いは都会では出来ないでしょう。責任者の方の教育が行き届いていますね。便数は多くなくてもバスに安心して乗れるサービスとか、物を届けるお願いが出来るとか、便利で、みなさん楽しく乗れるようなバスであって欲しいと思います。

通学には便利！



学生の利用者

佐藤健一さん

北海道医療大学の通学用に毎朝利用しています。学生にとっては無料なのが何よりですし、講義の1時間目に間に合う便なのでとても便利で、いつも2台のバスに満員なくらいに利用者がいます。

地域と大学が協力してこのようなバスが運行されているのは素晴らしいことだと思います。

大学が生活場所から離れているので、これからもふれバが続いて欲しいです。

環境を考えると！



ヒルズの利用者
菅美恵子さん

免許を持っていませんし、環境のことを考えると、JRやバスはもっと利用するべきですね。先日、バスに乗り合わせた見ず知らずの人と、青山線に乗って子ヤギを見してきました。ふれバで青山へは初めてで、窓からの景色にワクワクしました。ふれバで小旅行の気分でしたね。

ヒルズでは札幌に通う高校生のためには、朝の交通がまだ不便だという話題が出ています。世代によってもバスに求めるものが違います。私はバスがあるだけでもありがたいですね。

バスに乗る？乗らない！ その理由

④利用していない人はこう思う！

今はマイカーで！時々自転車！

やっぱりマイカーを使って買い物をします。江別やあいの里も20分ですからね。主人がマイカーを使っている時は、町内ですけれど、今は自転車が徒歩で間に合っています。ただ、足が不自由になったり、高齢になったら乗るでしょうね。

(末広在住 Aさん、パート・女性)

停留所が近ければ乗りたい！

自宅からJR当別駅までは片道4km、天気の悪い日、冬期間は高校生を毎朝晩、車で送っています。市街地から南に延びている路線は当江線くらいで、1日4往復と便数が少なく、停留所までも700mあり不便です。利用者は限られるので近所にバス停を作って欲しいとも言えないですね。

(対雁在住 Bさん、会社員・男性)

深夜のバスは便利でした！

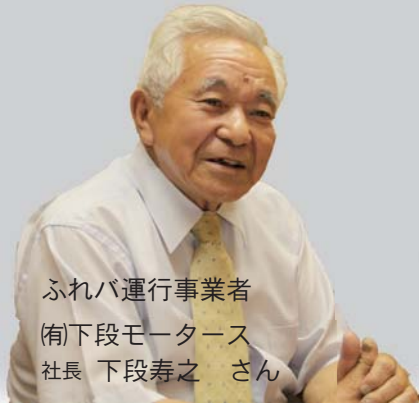
JRの接続を含めて通勤の時間帯に合わないのに乗ってません。

料金より、時間帯が合うか合わないかで決まると思います。深夜にあいの里から乗れる「SuiSuiふれバ」には3回くらい乗りましたがなくなったのは残念です。停留所ごとの名刺サイズの時刻表もあつたら便利と思います。

(美里在住 Cさん、パート・女性)



⑤ 運行事業者は



ふれバ運行事業者
 (有)下段モータース
 社長 下段寿之 さん

ふれバは民間や役場が運行していたバスを統合し、人々が自由に乗れる路線バスを新設し、お互いの負担を減らそうという発想が発端です。

今後の地域経済や地域の足を守るためには、最小限のコストで運行出来る公共交通が必要です。勿論、赤字の路線では続くわけが

りません。現実的にはみなさんが、それぞれの生活スタイルにあわせてどれだけ利用するか、そこにどれだけ出費できるかです。

これまでの5年間、実証運行を続けて利用実態をつかみ今の路線、ダイヤ、運賃となっています。その中で私たち運行事業者は、ロスの少ない効率的な運行を心がけてきました。自動車整備を本業としているため、車体の整備は自前ですし、バス停の製作、板金や塗装など自動車以外に応用できるため、設備投資を抑えてきました。

町ではバスを効率よく運行するため、路線ごとに固定した車体を運行するのではなく、全ての路線に空き時間なく効率的に配車できるダイヤを研究してくれました。

全国では様々な地方交通が研究されていますが、ふれバは優等生のようなのです。その証拠に全国から

視察に来ますからね(笑)。

ふれバにのって町内で買い物するお年寄りはかなりいます。「お年寄りを閉じこもりにさせない」という点でふれバは役に立っているし、10年後、20年後は更に必要とされると思います。

ふれバクイズ

先月号のクイズの答えは
バイオディーゼル燃料。でした。
 正解の方には、当別町地域公共交通活性化協議会より、ふれバグッズのトートバックとバスパーパークラフトのセットをお届けしました。

企画部情報課広報広聴係

☎ 23-3069 FAX23-3206

バスがまちに残る！残らない？

⑥ 見方を変えて！！

今回、様々な立場の方から意見を聞きました。家族、世帯毎に違った生活スタイルと価値観、多様性を持ち、それに合わせていくために台数を増やし利便性を向上させることは重要ですが、採算性を無視することは出来ません。



はじめに見てきたように、実証運行の経験により現在の路線、ダイヤで運行していますが、JRとの接続を改善するなど、利便性を向上させることで利用者が増加し、採算性の改善も期待されます。

特に冬期間で、自転車などを利用できない方には、ふれバ利用の可能性があります。今後もふれバは利用者の求めに応じた運行形態の見直しが必要とさ

通勤、通学者の自転車で溢れる駐輪場。冬にはふれバを・・・

れるでしょう。

利用者の声にもありましたが、ふれバは移動手段でありながら、地域コミュニケーションの場という一面もあります。若者からお年寄りまでが毎日利用する中で、利用者間の会話やふれあいが生まれるなど、単なる移動手段だけでは捉えきれない側面があります。

本格運行を迎えた今年度は、現在だけではなく、将来をも含めて「ふれバ」を残していけるか重要な年となります。「自分で動ける交通手段」を確保するため、地域住民が今一度、幅広い考えに立ち、利用率を上げることが継続への大きな力となります。